

# 弘前大学学報



平成23年度弘前大学入学式

第 85 号  
平成23年 4月号

**学内ニュース**

○平成23年度弘前大学入学式告辞	弘前大学長 遠藤正彦	-----	1
○平成23年度弘前大学入学式告辞	弘前大学長 遠藤正彦		
	人文学部・教育学部	-----	4
	医学部・理工学部・農学生命科学部	-----	8
○平成23年度弘前大学入学式を挙行		-----	12
○福島原子力発電所事故による被ばく状況調査チームを派遣		-----	13

**諸会議**

-----	14
-------	----

**人事**

○新任役員紹介	-----	16
○新任部課長等紹介	-----	16
○新任教授紹介	-----	17
○人事異動	-----	17

**主要日誌**

-----	30
-------	----

**学内規則等の制定等**

-----	31
-------	----

**計報**

-----	32
-------	----

---

## 平成23年度弘前大学大学院入学式

### 告 辞

弘前大学長 遠 藤 正 彦

平成23年度弘前大学大学院入学者の諸君、誠におめでとう。諸君は今まで、大学4年または6年の課程を終え、いよいよ大学院博士前期課程もしくは修士課程へ、また修士課程もしくは医師研修を修了し、大学院博士後期課程もしくは博士課程へ進学したものであり、それぞれ現在の専門の上に立って、更にその深い専門を極めるものであります。諸君は、これから自己の人間性の陶冶に励むと共に、自己の専門領域における専門的技術と思考法を身につけるよう努力することを願います。



ところで、今年の本学の大学院入学式が遅れて本日に至ったのは、このたびの東日本大震災により、生命・家族・仕事を失った方々が多数おられ、これが我国の国民生活や産業に重大な影響を及ぼしたからで、被災者の方々には心からのお見舞いを申し上げます。

この東日本大震災は、我国の様々な事に重大な悪影響を及ぼしています。この中で特に我々に関係あるものの一つとして、この4月1日実施に移される予定であった第4期科学技術基本計画が、この度の東日本大震災により、エネルギー政策等の見直しのため、延期となりました。

我が国は少資源国として、科学技術の振興により、開発された製品やその技術の輸出により、我国の財政が保たれておりました。特に、延期になった科学技術基本計画の中には、グリーンイノベーションとして、エネルギー・環境・食を柱として、これらに関わる人材の育成が重要であるとして記されておりましたが、見直し後もこの基本的骨格に変わりはないであろうと予想されております。これらの科学技術は、理系の人々の技術のみならず、政策的にどう進めるかという政策論において、文系においても勿論重要課題であります。

本学で今まで学んで来た方々には御承知のように、本学では、エネルギーに対して自然エネルギーを対象とした「北日本新エネルギー研究所」を、環境問題に対しては「白神自然環境研究所」を、また放射線被ばくに対しては、医学部保健学科及び大学院保健学研究科の「被ばく医療教育」と、緊急被ばく医療を担った「高度救命救急センター」及び「被ばく医療総合研究所」をもって、既に教育・研究を展開しているところであります。



こうした中で、本学の科学技術振興と人材育成について、大学院教育はどうなっているのでしょうか。まず、諸君の入学した本学の大学院体制は、人文学部、教育学部、保健学科を含む医学部、理工学部、そして農学生命科学部と、それぞれ直結した大学院があり、その他に文理融合の大学院地域社会研究科が、人文・教育系の博士課程としてつながっております。人文・教育系につながる大学院博士課程は、全国の大規模の国立大学を除くと、その数が少なく、その意味で本学の人材育成の大学院体制は、完成度が極めて高いことを意味しています。

この大学院のサポート体制としては、附属図書館、出版会、機器分析センターがあります。附属図書館では、特に人文系・教育系の教員・学生のため、文系図書充実5ヶ年計画を立て、今年は4年目になり、文系図書はかなり充実してきました。

また、出版会は国立大学法人化の平成16年に設立されたものですが、着実に出版を継続していることから、設立3年目にして、国公立大学として32の大学しか、加盟が認められていない一般社団法人大学出版部協会の正式会員に叙せられ、間もなく設立以来100冊目の出版となります。本学の出版会は、学術的研究の出版の場として開放されておりますので、諸君もこの出版会を通して、若いうちから出版をするという経験をもつことを勧めます。

また、機器分析センターの充実は、理系の研究レベルに影響します。本学の分析機器は、以前は数も少なく、老朽化していたものを、国立大学法人化の直前に、機器分析センターとして立ち上げ、少ない予算の中から、少しずつ機器の購入を進めたところであります。

その結果、本学クラスの他の大学が設備している以上の機器が揃った他に、北日本新エネルギー研究所には、我国1、2台という分析・工作機器、また被ばく医療総合研究所と高度救命救急センターには、我国最高といわれる程の放射線関係分析機器が揃いましたので、科学技術振興の立場から、諸君の研究にはどのような方向からも、何の支障もないと思われまます。

また、人材育成としての大学院学生への経済的支援については、授業料免除、学生支援機構の育英奨学金は勿論のこと、本学独自のものとして、優秀な研究を展開する学生に、「弘前大学特別研究助成金」として、毎年20名の大学院学生の研究を支援する制度、また、「大学院振興基金」という名の基金を設立して、博士後期課程の優秀な学生の授業料を免除する制度の二つの制度があります。

その他、最近大学院での研究が学会等で高く評価されるケースが増え、これは本学大学院の研究レベルの向上が示されるものであり、このような学生に対して、「学長表彰」が行われています。

---

本学の大学院修了者の就職率は高いのですが、最近、製造業種の企業等で大学院修士課程修了者に重きをおいて採用するというケースが増えているようです。このように大学院は、優れた人材を育成して社会に送り出すことも使命の一つですが、大学院には、優れた研究を進め、その領域の専門家を育て、その領域の研究を継承し、更に発展させるというための先導的役割を担った人材を育成することも、その使命の一つであります。



地方の大学では、大学院を修了しても進むべき助手・助教のポストが少ないことから、本学では「特別研究員制度」といって、大学院博士課程修了者に助教相当の手当を支払って、3年に限り研究を継続させるという制度が、今現に活用されており、現在文系理系合わせて6名の大学院修了者が、この制度を利用して研究を続けています。こうした中から、将来きっと本学の研究を継承し、研究のリーダーとなる人材が生まれるものと信じています。

以上のように、本学の大学院体制は、各自の自由な研究の他に、エネルギー、環境、食、そして被ばくを主とした特定の研究を中心に、他大学よりすぐれた大学院のための基盤と、大学院生を支援するシステムを有し、科学技術の振興と人材の育成に努めています。

諸君におかれましては、本学のこの優れた研究基盤と研究支援システムを活用し、文系・理系共に時代を先取りするような研究を展開し、内外に本学の大学院の研究レベルの高さを示せるように努力することを期待しています。

諸君が、これからの大学院生活において、人間陶冶の上でも、研究の上でも、大きな成果をあげられるよう祈念して、諸君を応援し、告辞とします。

告 辞

弘前大学長 遠 藤 正 彦

皆さんが、心待ちにしていた平成23年度弘前大学入学式です。

平成23年度弘前大学人文学部及び教育学部入学の皆さん、入学誠におめでとうございます。皆さんは、これから4年間本学で学ぶことにより、豊かな人間性と教養、そして学問の専門性を身につけて、社会の求める人材として、また、社会のリーダーの一員となれるよう努力して欲しいと願います。



本年の入学式は言うまでもなく、3月11日、東日本を襲った未曾有の大震災と、それに連動して発生した、東京電力福島第一原子力発電所の事故、いわゆる東日本大震災により、家族を失い、家を失い、そして生活の基盤を失われた多くの人々がおり、皆さんの中にも、その関係者がおられます。被災者及びその関係者に心からのお見舞いを申し上げます。

この東日本大震災のため、交通や流通の機能が混乱しているため、入学式を延期いたしました。皆さんは、本学の入学の年に未曾有の大震災に遭われたことは生涯忘れることはないでしょう。更に、皆さんひとりひとりに、この大震災復興に対する使命があるということも、自覚して欲しいと願います。外は、今正に桜の開花を迎えており、これも間違いなく皆さんの心に留まるものと思います。

入学式を遅らせることに当たり、本学では皆さんに読書をすることを勧めました。この機会に、読書の面白さを知り、読書する習慣が身につけば、誠に幸いであると思います。

また、学長は皆さんに、この大震災の後の我国において、自分たちの考える復興策についての提言を求めました。皆さんは、この大震災について、そして、これからの自分のこと等について、どのようなことを考えたでしょうか。皆さんの斬新な提言を楽しみにしています。

皆さんは、大きな希望を持って本学に入学してきました。私も皆さんと同様大きな希望を持って54年前本学に入学しました。その当時の一人のドイツ語の先生のことを話してみたいと思います。



私は、昭和38年、今から54年も前に本学医学部進学課程に入学しました。第二次世界大戦の空襲による焼野原の復興もままならない仙台から弘前にきてみると、森の中に街があるといった感じのすばらしい落ち着いた街で、「よし、これからやるぞ」という気持ちになりました。

授業が始まってみると、すばらしい教授にドイツ語を教わることになりま

した。その先生は、小島尚教授です。

先生は、現在の人文学部及び理工学部の前身である文理学部のドイツ文学の教授で、当時の教養課程の多くの学生にドイツ語を教えていました。私もそのひとりでした。

先生は、戦後のことで、物資もあまりない時、きちんとスーツを着てネクタイを締め、端正で背筋をすっと伸ばして講義をなさいました。そして、予習、復習を私達に強く求め、講義の度、ドイツ語の文章の暗唱を命じました。

講義に遅れたり、講義中の私語には、講義中であっても声を荒げて怒りました。講義が進むにつれて、クラスの学生の名前を片っぱしから覚えて、私達に質問する時は、「誰々君」と私達を君呼びしました。先生は、講義中先生の質問に学生が答えられないと、教壇から飛び降りるようにして学生の前に来て、説明していました。この飛び降りる様子から、“ジャンプ”という有名なあだ名が生まれたということです。度々小試験が行われ、厳しく採点し、公表しました。学生達は、先生の試験に不合格になり、留年になっても、不合格の理由がわかっているので、仕方がない、当然と自覚して、特に文句を言う人はありませんでした。

こういう厳しい先生ですが、学生達の人気は抜群であったと誰でもが言います。私も、クラスメートと語らって、先生のお宅に遊びに行ったことが数回ありました。お宅でも先生の端正さに変わりはありませんでした。ドイツ文学者らしく、ドイツの名作曲家 バッハ、モーツァルト、ベートーベンに心酔しておられ、そのお話を聞かせていただいたことを覚えております。また講義中にも、ドイツの詩人 ゲルハルト・ハウプトマンの一節を諷んじて、吟じられました。

先生が、山登、スキー、そして釣りに長じておられたことは後になって知りました。

先生は良く学生の面倒を見られ、悩み事のある学生のお世話を秘かになさっていた様子でした。本学には当時すでに学生を少人数のグループに分けて、そのグループを一人の教官が受け持って、勉学その他のことを相談する、今で言うクラス担任制が全国のどこの大学より先に始められておりました。皆さんも本学のクラス担任制を大いに活用すべきです。

小島先生のように御自分の専門性を礎として、旧制弘前高等学校の伝統を重んじ、自分の信念を貫く教員を、私は目標としてきました。

---

小島先生の門下生のおひとりで、本学の小笠原茂介名誉教授の、小島教授のおもいで文章の中に、このような一節があります。「時代であろう。先生の生まれ育った時代が古き良き日本の時代だったのだ。それはまた、ひとりの教師としての、先生の人格にも表れていた。身をもって示されたその生き方、姿勢において、またわれわれ門下生に対する温情と包容力において、まさに教授の名にふさわしく、真に先生と呼ばれるに相応しい。このような教授も、さらに先生と呼ばれるのに相応しいと思われる人も身边には少なくなった。」と書かれております。けだし、小島教授のことを述べておられる最も相応しい文章だと思えます。



先生は俳句をたしなまれており、句集も「春愁」と「秋思」を刊行されておられます。その句集「春愁」の中に戦争中、先生の教え子が兵隊として戦地に赴くことになったという信書に、

「吹雪く夜は 君がたまづさ 読み飽かず」

吹雪の夜に君の手紙を何度も何度も読んでいますと、戦場に向かう教え子のことを思う先生のお気持ちが、表れており、私にはじーんと伝わってきます。もう一句、

「本を売りし 夕は南瓜を 熱く煮よ」

戦争後物資がなく、食べるものもない時に、研究者として生命の次に大事な専門書を買ってお金を換えて、かぼちゃを買って子供らに食べさせるというつらい心情を歌っておられ、胸がつかれます。

小島先生は、山形県米沢市の御出身で、旧制山形高等学校から東京帝国大学文学部独文科を御卒業後、大変有名な「木村和独大辞典」の編纂に従事しました。その後、旧制佐賀高等学校教授を経て、本学の前身の一つ旧制弘前高等学校教授、そして新制弘前大学設置に伴い文理学部教授、そして改組により人文学部教授、そして人文学部長を務められた後、定年退官されました。その後、東京近郊へ居を移し、ライフワークのドイツ語学、ゲルハルト・ハウプトマン等のドイツ文学の研究を続けられました。

小島先生の最も輝いているお仕事の一つは、本学退官後「英語対照ドイツ語同意語小辞典」を研究社より刊行したことです。これは、小島教授がこつこつとその編纂の仕事を続けておられたことを、私達学生は皆承知しておりましたので、この辞典の刊行は正に、私達の喜びであり、また小島教授の輝かしいライフワークでありました。そして、これは正に本学の誇りであります。

弘前大学は、昭和24年旧制弘前高等学校、青森県師範学校、青森青年師範学校、青森医学専門学校、弘前医科大学を包括校として、創立されました。当時は、今までお話ししてきた小島先生のような先生方の、多大な努力の積み重ねによって、本学の礎が築かれ、それがあったがために今日の発展があったのであります。皆さん方は、本学の歴史を心に刻むと共に、先人達の努力に畏敬の念をもっていただきたいと思えます。

---

---

皆さんの入学した弘前大学は、本学の前身青森県師範学校の創立 明治9年から数えて134年、新制大学として創立してから62年という長い歴史と伝統があり、今は、人文学部、教育学部、医学部、理工学部及び農学生命科学部と、それぞれに直結した大学院と、北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所、そして被ばく医療総合研究所の3研究所を擁する完成度の極めて高い中規模総合大学であります。

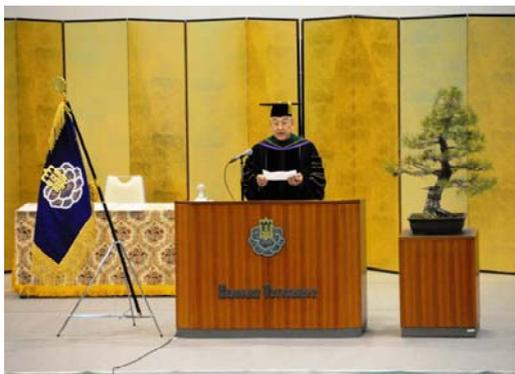
皆さんがこれから接する本学の教員は、今お話しした小島先生のような人間味あふれる専門性に長けた方々ですので、講義を通じ、クラス担任制を通じ、ゼミや卒業研究を通じ、これらの先生から多くを学びとってほしいと願います。

教員と触れ合う、これが大学なのです。そうした中から、芯の通った専門性としてのライフワークをつかんでほしいと願います。そして、4年後、社会の求める優れた人材として、本学を巣立ってゆけるよう努力して下さい。

これからの4年間の大学生活が、皆さんの人間形成に大きく資するものになるよう祈念して、皆さんを迎える告辞とします。

告 辞

弘前大学長 遠 藤 正 彦



平成23年度弘前大学医学部、理工学部及び農学生命科学部入学者の皆さん、入学誠におめでとうございます。皆さんは、希望に燃えて今日の来る日を待っておられたと思います。その希望に燃えるその気持ちを持続させて、これからの4年、医学科にあっては6年間、自分の目的に向かって最大限の努力をして欲しいと願います。

この入学式が遅れましたのは、言うまでもなく、この3月11日の東日本を襲った未曾有の地震と津波、それに続く東京電力福島第一原子力発電所の事故、いわゆる東日本大震災により、家族を失い、家を失い、職を失った多くの方がおり、皆さんの中にも、その関係者がおられます。被災者及びその関係者に心からのお見舞いを申し上げます。

この東日本大震災により、交通や流通の遮断等があったため、入学式を延期しました。この間、本学は皆さんに読書をすることを勧めました。この機会に、読書の面白さを知り、読書する習慣が身につけば、誠に幸いであったと思います。

また、学長はみなさんに、この大震災の後の我国において、自分達の考える復興策についての提言を求めました。皆さんは、この大震災について、そして、これからの自分のこと等について、どのようなことを考えたでしょうか。皆さんの斬新な提言を楽しみにしています。

ところで、この度の東日本大震災により、多くの人々が生活の基盤を失い、また多くの企業が生産手段の損害により生産を停止し、これにより我国の自動車産業等基幹産業の停滞による我国経済への大きなダメージがありました。今必要なことは、被災地の復興と、経済産業の復活であります。

この我国における未曾有の災害は、我国のエネルギー政策における原子力の見直し、大量の放射能の飛散による地域環境の放射能汚染、放射能から身を守るための食の安全等、我々にとって、喫緊の極めて重大な問題を提起しています。

我国は、資源に乏しいので、産業を振興し、輸出により国を支える科学技術創造立国として歩んできました。このため、5年に一度の我国の科学技術の方向を示す科学技術基本計画を策定し、この4月1日より、新しく第4期科学技術基本計画が実施に移されることになっていました。この基本計画の中には、グリーンイノベーションとして、エネルギー・環境・食を柱として計画が立てられていました。

---

しかし、この度の東日本大震災は、この我が国の科学技術、特にエネルギー政策の見直しを迫り、広範な地域の放射能汚染による環境・農業のあり方、そして健康及び食の安全に対して喫緊の対策を求めることになりました。

実は、当の弘前大学は、この第4期科学技術基本計画の策定されるはるか以前、すなわち約10年前から、青森県が、特に世界自然遺産白神山地を含む、緑豊かな自然を持つこと



ことから、白神を中心とした環境問題の教育と研究に、農学生命科学部と理工学部が力を注ぎ、世界自然遺産白神山地の弘前側に我国最大規模の面積を持つ、白神自然観察園を附属とする“白神自然環境研究所”を立ち上げて教育・研究を続けていました。

また、青森県には手つかずの自然エネルギー、即ち、地熱・海流・風力等のエネルギーがありますので、理工学部を中心として、教育と研究に取り入れておりました。このため、国より、平成14年からエネルギー教育の調査普及事業の地域拠点大学14校の一つに選ばれ、そして、平成17年には、地域先行拠点大学に選ばれました。これらを土台として、平成21年に青森市に、北日本新エネルギー研究所が設立され、原子力や化石燃料以外の自然エネルギーの研究を展開し、既に新しく発明されたエネルギー関係の製品を販売する大学発ベンチャーの株式会社が興され、この製品販売まで進んでいるところであります。

また、青森県は三方が海に囲まれ、水産業が発達していると共に、我国最大のりんごの産地として知られ、これを本学の農学生命科学部が教育・研究に取り入れて、このりんご産業を支えています。本学の農学生命科学部には、附属の生物共生教育研究センターがあり、その附属の農場、金木農場と藤崎農場では、米・りんご・牛等の研究を展開し、したがって、食料の確保と食の安全から、生物の基本・DNAに至るまでの、教育・研究を幅広く展開している全国的に数少ない農学系学部の一つであります。

また、青森県は、全国で有数の原子力産業基地で、原子力発電所・原子力燃料再処理工場等があります。しかし、我国では原子力施設での事故は、絶対に起こらないとされており、このため、万が一にも発生した緊急被ばくに対応できる医療施設は、千葉の放射線医学総合研究所と広島大学にのみあるだけでした。本学では、青森県の地元にある唯一の国立大学としての使命から、安心安全のために、緊急被ばくに対応できる我国初の高度救命救急センターを立ち上げておりました。一方、この緊急被ばくに対応できる看護師・臨床検査技師・放射線技師・理学療法士・作業療法士の養成は、我国では唯一本学の医学部保健学科と大学院保健学研究科が開始しておりました。また、これらの緊急被ばく医療の研究を行う、被ばく医療総合研究所を立ち上げて、研究を進めておりました。

そこに、正に予想もしなかった福島原子力発電所の事故です。全国の大学がこの原子力発電所事故の放射線サーベーターのためのチームを派遣し、本学も派遣しました。

---



本学の場合は、他大学とは異なって、文部科学省の要請により、現地でサーベ一斑を指揮する唯一の指揮者の派遣を求められて、高度救命救急センターから、専門家としての総括医師を一名派遣しました。また、サーベ一斑は、アメリカ・フランス等の海外で研修したプロフェッショナルなレベルの高い保健学科の教員と、被ばく医療総合研究所の教員、附属病院看護師及び放射線技師、そして事務系職員からなる完璧なチームを第8次隊まで、計46名を現地に送り込みました。これほどレベルの高い、しかも大人数を派遣できた大学は他にはありませんでした。

この東日本大震災が起こるまで、何人もこれ程の大災害、特に放射線事故の発生を予想しておりませんでした。しかし、事故が起こってみると放射能汚染の問題も、エネルギーの問題も、環境の問題も、食の安全の問題についても、十分に対応できる能力を有している大学として、本学が、急にクローズアップされるようになりました。これらは、本学教職員の慧眼と先見性によるものと、学長は評価しています。

世界的に、以前はドイツ・スペインに代表されるように、原子力エネルギーに対して見直す傾向があり、原子力発電が停滞していました。しかし、地球温暖化、化石燃料の枯渇及びクリーンエネルギーという見地から、原子力発電が見直され、「原子力カルネッサンス」と言われる程に全世界、特に中国や資源の少ない後進国での原子力発電所設置への動きが急速に進んでいたところであります。その矢先に、この度の福島原子力発電所の事故があり、世界のトップ水準にある我国の科学技術による事故処理を世界中が見守っておりますが、一方では、欧米や開発途上国の国ですら、エネルギー政策の点検・見直しの表明がなされているところであります。

この期に及んでみると、我国では特にエネルギーの専門的技術者、環境の専門家、放射線被ばく医療の専門家が十分に育っていなかったもので、これらの専門家の養成が急務となっています。しかし、本学は、理工学部、農学生命科学部及び北日本新エネルギー研究所が中心となって、エネルギーの専門家を養成すべく、エネルギーの大学院を設置するという気運が高まってきています。

被ばく医療に関わる人材を養成している大学は、我国では本学の保健学科及び大学院保健学研究科のみで、数年後、被ばく医療における我国のリーダーとなる専門家が、本学から続々と巣立っていくこととなります。

これから、どんな新しい第4期科学技術基本計画が出されても、前述のことから、本学は高いレベルで対応できるものと信じています。

本日、入学式に臨んだ皆さんは、本学では一般の大学と同じレベルの高等教育を受けると共に、特に、医学部医学科及び保健学科の皆さんは、救急医療・被ばく医療の我国最高の教育を受けることができ、理工学部の皆さんはエネルギーと環境について、農学生命科

---

学部の皆さんは環境、バイオエネルギーと食の安全について、最高の勉学をすることができ、それぞれ我国のトップレベルのリーダーとして活躍できる道が用意されています。

皆さんは、この我国の大震災の時期に本学に入学し、他大学にはない特別の教育を受けられるというチャンスを生かして、我国のリーダーとなることを目標として、これからの4年ないしは6年間を有意義に過ごして欲しいと、学長として強く念願します。そして、本学は地方にはありますが、著しい特徴をもった中規模総合大学でありますので、その意気を内外に示して欲しいと願います。

皆さんの、これからの4年ないし6年の勉学と活躍にエールを送り、告辞と致します。

## 平成23年度弘前大学入学式を挙行 ～学部・大学院学生ら1,733名が入学 附属学校園でも入学式を挙行～

4月27日（水）、東日本大震災の影響により延期していた平成23年度「弘前大学大学院入学式」及び「弘前大学入学式」が行われました。各学部・研究科の新入生らを迎え、厳かに挙行されました。

入学式は第1部、第2部の二部制で行われ、第1部（人文、教育学部）が11時00分から、第2部（医、理工、農学生命科学部）が13時から挙行されました。

開式に先立ち、犠牲になられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表し、全員で黙祷をささげました。

続いて、御来賓、役員及び部局長の紹介、入学許可、遠藤学長の入学式告辞、最後に新入生代表による学生宣誓があり、晴れの式典が終了しました。

また、弘前大学大学院入学式は、同日9時から創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、教育学部附属学校園の入学式・入園式は、小学校が4月7日（木）、中学校が4月8日（金）、特別支援学校が4月11日（月）、幼稚園が4月13日（水）に各学校園においてそれぞれ執り行われました。

今年度の入学者数は、次のとおりです。

○学部（1,399名）	
人文学部	350名
教育学部	241名
医学部	307名
理工学部	311名
農学生命科学部	190名
○3年次編入学（29名）	
医学部	19名
理工学部	6名
農学生命科学部	4名
○大学院（305名）	
人文社会科学研究科	16名
教育学研究科	32名
医学研究科	50名
保健学研究科博士前期課程	22名
保健学研究科博士後期課程	10名
理工学研究科博士前期課程	108名
理工学研究科博士後期課程	5名
農学生命科学研究科	54名
地域社会研究科	8名
○附属学校園（325名）	
小学校	89名
中学校	188名
特別支援学校	16名
幼稚園	32名



## 福島原子力発電所事故による被ばく状況調査チームを派遣

本学では、文部科学省からの要請を受けて、東日本大震災直後の3月15日（火）から4月28日（木）までの間に、8チーム延べ46人の「被ばく状況調査チーム」を福島県に派遣しており、今後も継続して支援することとしています。

本学では、医学部、大学院保健学研究科、被ばく医療総合研究所等において被ばく医療の教育、研究を通して、被ばく医療を担える人材の育成を図っており、また、高度救命救急センターでは被ばく患者を受け入れ、治療を行える体制を整えていることから、今回の大震災に当たって積極的に対応することとしているものです。

派遣チームは、放射線を専門とする教員、看護師の資格を有する教員、附属病院の放射線技師のほか事務職員を含む構成としました。それぞれの職務を活かしたチーム作業を行うことで、一連の業務がスムーズに進みました。

現地での活動は、各避難施設を回り、被ばくスクリーニングを実施したほか、福島県内の環境調査も行いました。スクリーニング時は住民の話に耳を傾け、放射性物質等に対する不安を和らげるように対応したほか、一部の方には甲状腺モニタリングも行いました。



被ばくスクリーニングの様子

---

## ■ 諸 会 議

### ▼役員会

4月 4日（月）

#### 審議事項

- 1 弘前大学安全保障輸出管理について
- 2 弘前大学放射線安全機構規程の一部改正について

#### 報告事項

- 1 震災への対応について
- 2 平成23年度研究サポートスタッフ派遣制度の決定について
- 3 平成23年度弘前大学レンタルラボ入居者の決定について
- 4 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム学生委員会報告について
- 5 各種委員会委員の交替について

4月11日（月）

#### 審議事項

- 1 農学生命科学研究科の改組について
- 2 教育活動推進のための提言について
- 3 弘前大学教育推進室規程の制定について

#### 報告事項

- 1 震災への対応について

4月18日（月）

#### 審議事項

- 1 農学生命科学研究科の改組について
- 2 教育活動推進のための提言について
- 3 弘前大学教育推進室規程の制定について
- 4 弘前大学安全保障輸出管理について
- 5 丸井清泰初代学長記念碑建立に関する検討委員会報告について

#### 報告事項

- 1 震災への対応について
- 2 平成23年度科学研究費補助金 交付内定状況について

4月25日（月）

#### 審議事項

- 1 東日本大震災により被災した幼児、児童及び生徒に係る教育学部附属学校園の授業料等の免除について

#### 報告事項

- 1 放射線測定への協力について
- 2 学長と事務局各部との懇談会の開催について
- 3 学長説明会の開催について
- 4 平成23年度補正予算（第1号）について

### ▼学長選考会議

4月21日（木）

#### 審議事項

- 1 議長の選出について
  - 2 学長候補適任者選考のためのインタビュー実施について
  - 3 学内意向投票及び学長候補適任者による説明会について
  - 4 学長像、学長の資質について
  - 5 学長選考にかかる選考日程について
-

---

▼教育研究評議会

4月12日（火）

審議事項

- 1 学長選考会議委員の選出について
- 2 農学生命科学研究科の改組について
- 3 教育活動推進のための提言について
- 4 弘前大学教育推進室規程の制定について
- 5 弘前大学安全保障輸出管理について

報告事項

- 1 教員の人事について  
(1) 教員の採用・昇任
- 2 平成23年度入学式の実施について
- 3 東日本大震災への対応について
- 4 平成22年度組織評価の評価結果について
- 5 次期認証評価の受審について
- 6 平成23年度入学試験の結果について
- 7 飲酒強要防止等の注意喚起について
- 8 平成22年度就職内定状況について
- 9 平成23年度研究サポートスタッフ派遣制度の決定について
- 10 平成23年度弘前大学レンタルラボ入居者の決定について
- 11 弘前大学大学院保健学研究科と独立行政法人放射線医学総合研究所との教育研究協力に関する協定の締結について
- 12 人材データベースの構築について
- 13 委員会報告  
(1) 21世紀教育センター運営委員会  
(2) 教育・学生委員会

▼総務委員会

4月14日（木）

審議事項

- 1 弘前大学総合文化祭推進委員会委員の推薦について

▼教育・学生委員会

4月4日（月）

審議事項

- 1 教育・学生委員会の運営（役割分担等）について

## 新任役員紹介



理事

エラ シゲル  
江羅 茂

江羅総務部長が、平成23年4月1日付けで理事(財務・施設担当)に発令されました。

## 新任部課長等紹介



総務部長

ノグチ イッペイ  
野口 一平

野口長岡技術科学大学総務部長が、平成23年4月1日付けで本学総務部長に発令されました。



財務部長

スドウ マモル  
須藤 守

須藤徳島大学財務部長が、平成23年4月1日付けで本学財務部長に発令されました。



学務部長

テヅカ タケロウ  
手塚 健郎

手塚筑波大学大学院図書館情報メディア研究科准教授が、平成23年4月1日付けで本学学務部長に発令されました。



総務部人事課長

イケダ トオル  
池田 徹

池田国立西洋美術館庶務課長が、平成23年4月1日付けで本学総務部人事課長に発令されました。



学務部入試課長

オオニシ タカヒサ  
大西 尊久

大西文部科学省生涯学習政策局参事官付専門職が、平成23年4月1日付けで本学学務部入試課長に発令されました。



学務部就職支援室長

ナガオ ヒサヨシ  
長尾 久好

長尾理工学研究科事務長が、平成23年4月1日付けで学務部就職支援室長に発令されました。



学術情報部研究推進課長

タケウチ アラタ  
竹内 新

竹内文部科学省初等中等教育局教職員課専門官が、平成23年4月1日付けで本学学術情報部研究推進課長に発令されました。



学術情報部学術情報課長

イワノ ヒロフミ  
工藤 弘文

工藤八戸工業高等専門学校学生課長が、平成23年4月1日付けで本学学術情報部学術情報課長に発令されました。



教育学部事務長

ナガサワ アツシ  
長澤 淳

長澤学務部就職支援室長が、平成23年4月1日付けで教育学部事務長に発令されました。



理工学研究科事務長

オオタ シュウゾウ  
太田 修造

太田教育学部事務長が、平成23年4月1日付けで理工学研究科事務長に発令されました。



医学部附属病院経営企画課長

サノ ススム  
佐野 進

佐野高知大学法人企画課長が、平成23年4月1日付けで本学医学部附属病院経営企画課長に発令されました。

## 新任教授紹介



**教育学部**  
ナカノ ヒロシ  
**中野 博之**  
 中野教育学部准教授が、平成23年4月1日付けで同学部教授に発令されました。



**教育学部**  
スギハラ  
**杉原 かおり**  
 杉原教育学部准教授が、平成23年4月1日付けで同学部教授に発令されました。



**保健学研究科**  
ホソカワ ヨウイチロウ  
**細川 洋一郎**  
 細川保健学研究科准教授が、平成23年4月1日付けで同研究科教授に発令されました。



**保健学研究科**  
キダチ ムネ  
**木立 るり子**  
 木立保健学研究科准教授が、平成23年4月1日付けで同研究科教授に発令されました。



**農学生命科学部**  
ヨシダ タカシ  
**吉田 孝**  
 吉田農学生命科学部准教授が、平成23年4月1日付けで同学部教授に発令されました。



**白神自然環境研究所**  
イシカワ マサオ  
**石川 幸男**  
 石川専修大学北海道短期大学教授が、平成23年4月1日付けで本学白神自然環境研究所教授に発令されました。

## 人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年4月1日		野口 一平	総務部長
平成23年4月1日		須藤 守	財務部長
平成23年4月1日		手塚 健郎	学務部長
平成23年4月1日		池田 徹	人事課長(総務)
平成23年4月1日		大西 尊久	入試課長(学務)
平成23年4月1日		竹内 新	研究推進課長(学情)
平成23年4月1日		工藤 弘文	学術情報課長(学情)
平成23年4月1日		佐野 進	経営企画課長(病院)
平成23年4月1日		中村 勝之	課長補佐(教務グループ)(学務・教務)
平成23年4月1日		伊瀬谷 直樹	経理調達グループ主任(病院・経調)
平成23年4月1日		松枝 寛	一般職員(総務・企画)
平成23年4月1日		阿彦 聡史	一般職員(総務・人事)
平成23年4月1日		関 寛子	一般職員(財務・契約)
平成23年4月1日		中村 翔	一般職員(財務・契約)
平成23年4月1日		高橋 美香子	一般職員(学務・教務)
平成23年4月1日		小出 佳祐	一般職員(学務・教務)

平成23年4月1日		牧野起奈	一般職員（病院・総務）
平成23年4月1日		高木亜沙未	一般職員（病院・経調）
平成23年4月1日		堀井惇平	一般職員（病院・医事）
平成23年4月1日		村井啓靖	一般職員（理工）
平成23年4月1日		佐藤早希	一般職員（農生）
平成23年4月1日		石川幸男	教授（白神） [33.3.31まで]
平成23年4月1日		安川あけみ	准教授（教育）
平成23年4月1日		塚本悦雄	准教授（教育）
平成23年4月1日		高見彰淑	准教授（保健）
平成23年4月1日		黒川敦	准教授（理工）
平成23年4月1日		北川文彦	准教授（理工）
平成23年4月1日		杉本知之	准教授（理工）
平成23年4月1日		立谷洋平	准教授（理工）
平成23年4月1日		内藤周子	講師（人文）
平成23年4月1日		吉村颯真	講師（人文）
平成23年4月1日		金目哲郎	講師（人文）
平成23年4月1日		日比野愛子	講師（人文）
平成23年4月1日		澤佳成	講師（教育）
平成23年4月1日		田中勝則	講師（教育）
平成23年4月1日		田中義久	講師（教育）
平成23年4月1日		朝山奈津子	講師（教育）
平成23年4月1日		阪本奈美子	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		米山徹	助教（医） [27.9.30まで]
平成23年4月1日		森山貴子	助教（医） [26.3.31まで]
平成23年4月1日		木村正臣	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		菅原典夫	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		田中利弘	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		重藤龍比古	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		中川祥	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		高畑淳子	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		三上健一郎	助教（病院） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		柳町幸	助教（病院） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		田中治	助教（病院） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		石澤義也	助教（病院） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		赤坂英二郎	助教（病院） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		石村大史	助教（病院） [28.3.31まで]
平成23年4月1日		対馬史泰	助教（病院） [28.3.31まで]

平成23年4月1日		横山 公章	助教(病院) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		反町 篤行	助教(被ばく) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		田副 博文	助教(被ばく) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		清野 浩子	助手(医) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		石岡 陽菜	助手(医) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		佐々木 憲一	助手(医) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		鈴木 晃子	助手(医) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		小池 祐士	助手(保健)
平成23年4月1日		木村 智美	助手(病院) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		片山 耕輔	助手(病院) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		澤田 直也	助手(病院) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		江濱 由松	助手(病院) [28.3.31まで]
平成23年4月1日		大里 公子	副園長(附幼)
平成23年4月1日		三浦 由美子	教諭(附小)
平成23年4月1日		江良 多恵子	教諭(附小)
平成23年4月1日		吉谷 瑞穂	教諭(附小)
平成23年4月1日		外崎 祝子	教諭(附小)
平成23年4月1日		竹井 亮	教諭(附小)
平成23年4月1日		森谷 みどり	教諭(附中)
平成23年4月1日		毛内 優子	教諭(附中)
平成23年4月1日		傳法 安子	教諭(附中)
平成23年4月1日		相馬 恵子	教諭(附中)
平成23年4月1日		成田 安男	教頭(附特)
平成23年4月1日		相馬 力	教諭(附特)
平成23年4月1日		森 修子	教諭(附特)
平成23年4月1日		田中 二三猛	教諭(附特) [24.3.31まで]
平成23年4月1日		高橋 志織	薬剤師(病院)
平成23年4月1日		鈴木 将志	診療放射線技師(病院)
平成23年4月1日		駒井 史雄	診療放射線技師(病院)
平成23年4月1日		鈴木 雄太	臨床工学技士(病院)
平成23年4月1日		村山 麻由香	看護師(病院)
平成23年4月1日		菊池 和貴	看護師(病院)
平成23年4月1日		南 美沙	看護師(病院)
平成23年4月1日		長谷川 結香	看護師(病院)
平成23年4月1日		安岡 純恵	看護師(病院)
平成23年4月1日		内山 美穂	准看護師(病院)
平成23年4月1日		鳴海 佑美	准看護師(病院)

平成23年4月1日		岩谷夏姫	准看護師 (病院)
平成23年4月1日		成田和代	准看護師 (病院)
平成23年4月1日		工藤智美	准看護師 (病院)
平成23年4月1日		佐藤靖子	准看護師 (病院)
平成23年4月1日		新屋沙織	准看護師 (病院)
平成23年4月1日		佐藤逸実	准看護師 (病院)
平成23年4月1日		前田崇城	准看護師 (病院)
平成23年4月1日		神実可子	准看護師 (病院)
平成23年4月1日		中田智美	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		山口瑞恵	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		久保沢富士子	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		竹村典子	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		小笠原翠	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		山口峰	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		本間充	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		工藤千紘	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		柴田結花	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		小山内千春	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		坂本智美	看護助手 (病院)
平成23年4月1日		平田友香	看護助手 (病院)
平成23年4月4日		浦田俊一	職員グループ主任 (総務・人事)
平成23年4月16日		遠藤明	助教 (農生)

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年4月1日	共同センター第2グループ主任 (学情・共同)	上平好弘	共同センター第2グループ主任 (学情・共同) [24.11.16まで]
平成23年4月1日	一般職員 (農生)	肥後総陽	一般職員 (農生) [24.3.31まで]
平成23年4月1日	教授 (医)	藏田潔	教授 (医) [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授 (医)	土田成紀	教授 (医) [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授 (医)	元村成	教授 (医) [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授 (医)	八木橋操六	教授 (医) [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授 (医)	中根明夫	教授 (医) [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授 (医)	黒田直人	教授 (医) [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授 (医)	若林孝一	教授 (医) [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授 (医)	佐藤敬	教授 (医) [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授 (医)	奥村謙	教授 (医) [33.3.31まで]

平成23年4月1日	教授（医）	須田 俊 宏	教授（医） [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	兼 子 直	教授（医） [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	伊藤 悦 朗	教授（医） [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	中 澤 満	教授（医） [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	新 川 秀 一	教授（医） [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	木 村 博 人	教授（医） [33.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	羽 田 隆 吉	教授（医） [33.3.31まで]
平成23年4月1日	准教授（医）	和 田 龍 一	准教授（医） [30.3.31まで]
平成23年4月1日	准教授（医）	森 文 秋	准教授（医） [30.3.31まで]
平成23年4月1日	准教授（病院）	佐々木 賀 広	准教授（病院） [30.3.31まで]
平成23年4月1日	講師（医）	嶋 村 則 人	講師（医） [30.3.31まで]
平成23年4月1日	講師（病院）	松 崎 康 司	講師（病院） [30.3.31まで]
平成23年4月1日	講師（病院）	三 浦 弘 行	講師（病院） [30.3.31まで]
平成23年4月1日	講師（病院）	浅 野 研 一 郎	講師（病院） [30.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（医）	目 黒 玲 子	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（医）	渡 邊 誠 二	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（医）	瀬 谷 和 彦	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（医）	丹 治 邦 和	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（医）	原 田 伸 彦	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（医）	松 坂 方 士	助教（医） [28.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（病院）	藤 田 浩 史	助教（病院） [28.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（病院）	湯 川 昌 広	助教（病院） [28.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（病院）	二 神 真 行	助教（病院） [28.3.31まで]
平成23年4月1日	教諭（附小）	齋 藤 泉	教諭（附小） [24.3.31まで]
平成23年4月1日	養護教諭（附特）	鎌 田 順 子	養護教諭（附特） [24.3.31まで]
平成23年4月1日	栄養士（附特）	天 野 優 美	栄養士（附特） [24.3.31まで]

[昇任]

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
平成23年4月1日	総務グループ係長（医）	山 口 富 雄	室長補佐（法人監査）
平成23年4月1日	人事グループ係長（総務・人事）	後 藤 真 吾	課長補佐（人事グループ）（総務）
平成23年4月1日	職員グループ係長（総務・人事）	飯 田 有 知 子	課長補佐（職員グループ）（総務）
平成23年4月1日	入試グループ係長（学務・入試）	五 十 嵐 義 之	課長補佐（入試グループ）（学務）
平成23年4月1日	施設整備・管理グループ係長（施設・整計）	石 岡 孝 次	課長補佐（施設企画グループ）（施設）
平成23年4月1日	人事グループ主任（病院・総務）	佐 藤 順 志	人事グループ係長（総務・人事）
平成23年4月1日	総務グループ主任（人文）	鈴 木 登 紀 子	教務企画グループ係長（学務・教務）
平成23年4月1日	施設整備・管理グループ主任（施設・整計）	田 村 貴 之	施設整備・管理グループ係長（施設・整計）

平成23年4月1日	共同センター第2グループ主任（学情・共同）	菊池 優雅	社会連携グループ係長（学情・社連）
平成23年4月1日	総務グループ主任（医）	佐藤 良法	総務グループ係長（医）
平成23年4月1日	総務グループ主任（教育）	嘉手苺 広一郎	総務グループ係長（保健）
平成23年4月1日	附属学校グループ主任（教育）	工藤 良子	医事グループ係長（病院・医事）
平成23年4月1日	総務グループ主任（理工）	備前 剛	附属施設グループ係長（農生）
平成23年4月1日	一般職員（総務・人事）	熊澤 祐樹	人事グループ主任（総務・人事）
平成23年4月1日	一般職員（総務・人事）	木立 朝道	人事グループ主任（総務・人事）
平成23年4月1日	一般職員（財務・財企）	右京 達也	総務グループ主任（財務・財企）
平成23年4月1日	一般職員（施設・環安）	花田 順士	電気・機械グループ主任（施設・環安）
平成23年4月1日	一般職員（総務・総務）	松永 久美	共同センター第2グループ主任（学情・共同）
平成23年4月1日	一般職員（教育）	會津 豪	総務グループ主任（教育）
平成23年4月1日	一般職員（財務・契約）	佐藤 育世	附属学校グループ主任（教育）
平成23年4月1日	一般職員（農生）	成田 知子	人事グループ主任（病院・総務）
平成23年4月1日	一般職員（財務・契約）	及川 秀和	総務グループ主任（理工）
平成23年4月1日	一般職員（農生）	及川 望美	総務グループ主任（農生）
平成23年4月1日	准教授（教育）	中野 博之	教授（教育）
平成23年4月1日	准教授（教育）	杉原 かおり	教授（教育）
平成23年4月1日	准教授（保健）	細川 洋一郎	教授（保健）
平成23年4月1日	准教授（保健）	木立 るり子	教授（保健）
平成23年4月1日	准教授（農生）	吉田 孝	教授（農生）
平成23年4月1日	講師（教育）	岩井 草介	准教授（教育）
平成23年4月1日	講師（医）	樋熊 拓未	准教授（医）
平成23年4月1日	講師（保健）	五十嵐 世津子	准教授（保健）
平成23年4月1日	講師（保健）	北宮 千秋	准教授（保健）
平成23年4月1日	講師（保健）	古川 照美	准教授（保健）
平成23年4月1日	講師（保健）	加藤 拓彦	准教授（保健）
平成23年4月1日	助教（理工）	種田 晃人	准教授（理工）
平成23年4月1日	助教（理工）	小林 真平	准教授（理工）
平成23年4月1日	助教（保健）	漆坂 真弓	講師（保健）
平成23年4月1日	助教（病院）	宮川 靖博	講師（病院）
平成23年4月1日	助手（医）	若佐谷 保仁	助教（医）
平成23年4月1日	助手（医）	是川 あゆ美	助教（医）
平成23年4月1日	助手（保健）	蝦名 智子	助教（保健）
平成23年4月1日	助手（病院）	工藤 隆司	助教（病院）
平成23年4月1日	薬剤師（病院）	村田 佳子	治験薬管理主任（病院）
平成23年4月1日	診療放射線技師（病院）	白川 浩二	主任診療放射線技師（病院）
平成23年4月1日	診療放射線技師（病院）	清野 守央	主任診療放射線技師（病院）

平成23年4月1日	看護師長（病院）	工藤 順子	副看護部長（病院）
平成23年4月1日	副看護部長（病院）	木村 美佳	看護師長（病院）
平成23年4月1日	副看護部長（病院）	阿保 都子	看護師長（病院）
平成23年4月1日	副看護部長（病院）	竹内 香子	看護師長（病院）
平成23年4月1日	看護師（病院）	桂 畑 隆	副看護部長（病院）
平成23年4月1日	看護師（病院）	木村 俊幸	副看護部長（病院）
平成23年4月1日	看護師（病院）	工藤 文子	副看護部長（病院）
平成23年4月1日	看護師（病院）	中村 真由美	副看護部長（病院）
平成23年4月1日	看護師（病院）	對馬 雅子	副看護部長（病院）
平成23年4月1日	看護師（病院）	福田 美恵	副看護部長（病院）
平成23年4月16日	准看護師（病院）	工藤 智美	看護師（病院）
平成23年4月16日	准看護師（病院）	佐藤 靖子	看護師（病院）
平成23年4月16日	准看護師（病院）	神 実 可子	看護師（病院）
平成23年4月22日	准看護師（病院）	鳴海 佑美	看護師（病院）
平成23年4月22日	准看護師（病院）	内山 美穂	看護師（病院）
平成23年4月22日	准看護師（病院）	前田 崇城	看護師（病院）
平成23年4月22日	准看護師（病院）	新屋 沙織	看護師（病院）

**[配置換]**

発令 年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
平成23年4月1日	就職支援室長（学務）	長 澤 淳	事務長（教育）
平成23年4月1日	事務長（教育）	太 田 修 造	事務長（理工）
平成23年4月1日	事務長（理工）	長 尾 久 好	就職支援室長（学務）
平成23年4月1日	課長補佐（入試グループ）（学務・入試）	佐 藤 知 己	事務長補佐（附属学校グループ）（教育）
平成23年4月1日	事務長補佐（附属学校グループ）（教育）	土 岐 祐 子	事務長補佐（総務グループ）（医）
平成23年4月1日	課長補佐（人事グループ）（総務・人事）	松 岡 昌 江	課長補佐（総務グループ）（病院・総務）
平成23年4月1日	事務長補佐（総務グループ）（医）	小 笠 原 裕 一	課長補佐（医事グループ）（病院・医事）
平成23年4月1日	人事グループ係長（総務・人事）	今 壽 砂 代	総務・秘書グループ係長（総務・総務）
平成23年4月1日	医事グループ係長（病院・医事）	奈 良 正 裕	広報・支援グループ（総務・総務）
平成23年4月1日	広報・支援グループ係長（総務・総務）	高 田 光 浩	職員グループ係長（総務・人事）
平成23年4月1日	企画管理グループ係長（学情・学情）	小 山 内 英 子	学生支援グループ係長（学務・学生）
平成23年4月1日	就職支援グループ係長（学務・就職）	成 田 洋 子	保健管理グループ係長（学務・学生）
平成23年4月1日	教務企画グループ係長（学務・教務）	葛 西 一 宏	入試グループ係長（学務・入試）
平成23年4月1日	経理調達グループ係長（病院・経調）	成 田 明	施設企画グループ係長（施設・施企）
平成23年4月1日	社会連携グループ係長（学情・社連）	嶋 元 貴 彦	共同センター第3グループ係長（学情・共同）
平成23年4月1日	医事グループ係長（病院・医事）	山 田 香 保 里	企画管理グループ係長（学情・学情）
平成23年4月1日	情報サービスグループ係長（学情・学情）	齋 藤 香 織	資料管理グループ係長（学情・学情）

平成23年4月1日	学生支援グループ係長（学務・学生）	佐々木 忠	医学情報グループ係長（学情・学情）
平成23年4月1日	総務グループ係長（保健）	對馬 寿 恵	人事グループ係長（病院・総務）
平成23年4月1日	職員グループ係長（総務・人事）	酒井 篤 史	人事グループ係長（病院・総務）
平成23年4月1日	総務グループ係長（病院・総務）	長澤 恵美子	経営企画グループ係長（病院・経企）
平成23年4月1日	附属施設グループ係長（農生）	成田 順 一	経理調達グループ係長（病院・経調）
平成23年4月1日	保健管理グループ係長（学務・学生）	小山 真樹子	医事グループ係長（病院・医事）
平成23年4月1日	資料管理グループ主任（学情・学情）	工藤 久美子	就職支援グループ主任（学務・就職）
平成23年4月1日	共同センター第3グループ主任（学情・共同）	福 眞 吉 教	共同センター第1グループ主任（学情・共同）
平成23年4月1日	医学情報グループ主任（学情・学情）	藤井 真 嗣	情報サービスグループ主任（学情・学情）
平成23年4月1日	人事グループ主任（病院・総務）	伊藤 咲 子	医療サービスグループ主任（病院・医事）
平成23年4月1日	総務グループ主任（農生）	佐藤 勝 美	医療情報グループ主任（病院・医事）
平成23年4月1日	企画管理グループ主任（学情・学情）	大津 雅 代	総務グループ主任（農生）
平成23年4月1日	総務グループ主任（教育）	天坂 晃 吏	附属施設グループ主任（農生）
平成23年4月1日	一般職員（総務・人事）	工藤 かおり	一般職員（総務・総務）
平成23年4月1日	一般職員（学務・教務）	藤村 美 樹	一般職員（総務・総務）
平成23年4月1日	一般職員（人文）	長尾 沙喜子	一般職員（総務・企画）
平成23年4月1日	一般職員（病院・経企）	花岡 正 崇	一般職員（総務・人事）
平成23年4月1日	一般職員（総務・総務）	木村 麻 子	一般職員（総務・人事）
平成23年4月1日	一般職員（教育）	中 嶋 恵	一般職員（総務・人事）
平成23年4月1日	一般職員（学情・研究）	佐藤 香	一般職員（総務・人事）
平成23年4月1日	一般職員（総務・人事）	吉田 富 嗣	一般職員（財務・財企）
平成23年4月1日	一般職員（学務・入試）	小笠原 愛	一般職員（学務・学生）
平成23年4月1日	一般職員（施設・施企）	下山 智 裕	一般職員（学務・留学）
平成23年4月1日	一般職員（学務・教務）	鷺谷 啓 彰	一般職員（学務・入試）
平成23年4月1日	一般職員（総務・人事）	齋藤 光 仁	一般職員（施設・施企）
平成23年4月1日	一般職員（保健）	細田 修 平	一般職員（施設・本町）
平成23年4月1日	一般職員（病院・医事）	中村 康 人	一般職員（学情・研究）
平成23年4月1日	一般職員（学情・共同）	田澤 智 治	一般職員（学情・学情）
平成23年4月1日	一般職員（理工）	伊藤 讓	一般職員（人文）
平成23年4月1日	一般職員（病院・医事）	星 晃 治	一般職員（人文）
平成23年4月1日	一般職員（施設・本町）	三浦 大 成	一般職員（教育）
平成23年4月1日	一般職員（理工）	田村 真理子	一般職員（教育）
平成23年4月1日	一般職員（学務・留学）	石村 頼 嗣	一般職員（医）
平成23年4月1日	一般職員（保健）	成田 麻 衣	一般職員（医）
平成23年4月1日	一般職員（総務・人事）	山上 侑 香	一般職員（保健）
平成23年4月1日	一般職員（学務・学生）	三浦 郁 美	一般職員（保健）
平成23年4月1日	一般職員（医）	中村 聡 子	一般職員（病院・総務）

平成23年4月1日	一般職員（病院・総務）	小林 志 乃	一般職員（病院・経企）
平成23年4月1日	一般職員（病院・医事）	熊 谷 美 香	一般職員（病院・経調）
平成23年4月1日	一般職員（学情・学情）	佐 藤 綾 希 子	一般職員（病院・医事）
平成23年4月1日	准教授（遺伝）	赤 田 辰 治	准教授（農生）
平成23年4月1日	助教（病院）	畠 山 真 吾	助教（医）
平成23年4月1日	助教（病院）	櫻 庭 美 耶 子	助教（医）
平成23年4月1日	助教（病院）	澤 谷 学	助教（医）
平成23年4月1日	助教（病院）	坂 本 義 之	助教（医）
平成23年4月1日	助教（病院）	工 藤 大 輔	助教（医）
平成23年4月1日	助教（病院）	阿 部 和 弘	助教（医）
平成23年4月1日	助教（病院）	大 和 田 真 玄	助教（医）
平成23年4月1日	助教（医）	青 木 哉 志	助教（病院）
平成23年4月1日	助教（医）	木 村 憲 央	助教（病院）
平成23年4月1日	助教（医）	諸 橋 一	助教（病院）
平成23年4月1日	医薬品情報主任（病院）	福 士 涼 子	麻薬主任（病院）
平成23年4月1日	治験薬管理主任（病院）	小 原 信 一	調剤主任（病院）
平成23年4月1日	調剤主任（病院）	野 呂 秀 紀	医薬品情報主任（病院）
平成23年4月1日	看護師（病院）	石 郷 岡 麻 衣 子	助産師（病院）
平成23年4月16日	看護助手（病院）	中 田 智 美	看護師（病院）
平成22年4月16日	看護助手（病院）	山 口 峰	看護師（病院）
平成23年4月16日	看護助手（病院）	坂 本 智 美	看護師（病院）
平成23年4月16日	看護助手（病院）	竹 村 典 子	看護師（病院）
平成23年4月16日	看護助手（病院）	本 間 充	看護師（病院）
平成23年4月16日	看護助手（病院）	平 田 友 香	准看護師（病院）
平成23年4月22日	看護助手（病院）	山 口 瑞 恵	看護師（病院）
平成23年4月22日	看護助手（病院）	久 保 沢 富 士 子	看護師（病院）
平成23年4月22日	看護助手（病院）	小 笠 原 翠	看護師（病院）
平成23年4月22日	看護助手（病院）	工 藤 千 紘	看護師（病院）
平成23年4月22日	看護助手（病院）	柴 田 結 花	看護師（病院）
平成23年4月22日	看護助手（病院）	小 山 内 千 春	看護師（病院）

[任命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年4月1日		江 羅 茂	理事（財務・施設担当）[24.1.31まで]
平成23年4月1日	理事	江 羅 茂	事務局長
平成23年4月1日	理事	江 羅 茂	経営協議会委員[24.1.31まで]
平成23年4月1日	教授（人文）	船 木 洋 一	経営協議会委員[24.1.31まで]

平成23年4月1日	総務部長	野口 一平	経営協議会委員[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	財務部長	須藤 守	経営協議会委員[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	鈴木 裕之	教育研究評議会評議員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	佐藤 敬	教育研究評議会評議員[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	佐々木 長市	教育研究評議会評議員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	水沼 英樹	教育研究評議会評議員[23. 7. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	中根 明夫	教育研究評議会評議員[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（人文）	杉山 祐子	教育研究評議会評議員[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	学務部長	手塚 健郎	教育研究評議会評議員[24. 1. 31まで]

[併任]

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
平成23年4月1日	教授（人文）	諸岡 道比古	人文学部副学部長 [24. 2. 29まで]
平成23年4月1日	教授（人文）	森 樹 男	人文学部副学部長（免）
平成23年4月1日	教授（人文）	黄 孝 春	大学院人文社会科学研究科副研究科長 [24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（教育）	東 徹	教育学部附属中学校長[26. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（教育）	松本 敏治	教育学部附属特別支援学校長[26. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	佐藤 敬	大学院医学研究科長[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	奥村 謙	大学院医学研究科副研究科長[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	若林 孝一	大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設長[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	佐藤 敬	医学部長[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	奥村 謙	医学部副学部長[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	佐藤 敬	医学部医学科長[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	弘前大学長	遠藤 正彦	教授（医） [24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	水沼 英樹	医学部附属病院副院長[23. 7. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	伊藤 悦朗	医学部附属病院輸血部長[26. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	福田 幾夫	医学部附属病院手術部長[26. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	小松 尚夫	理工学部数理科学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	加藤 博雄	理工学部物理科学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	糠塚 いそし	理工学部物質創成化学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	葛西 真寿	理工学部地球環境学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	岡本 浩	理工学部電子情報工学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	笹川 和彦	理工学部知能機械工学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	小松 尚夫	理工学部数理システム科学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	糠塚 いそし	理工学部物質理工学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	岡本 浩	理工学部電子情報システム工学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	笹川 和彦	理工学部知能機械システム工学科長[24. 3. 31まで]

平成23年4月1日	教授（農生）	鈴木 裕 之	農学生命科学部長[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	佐々木 長 市	農学生命科学部副学部長[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	福澤 雅 志	農学生命科学部生物学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	石黒 誠 一	農学生命科学部分子生命科学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	戸羽 隆 宏	農学生命科学部生物資源学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	澁谷 長 生	農学生命科学部園芸農学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	檜垣 大 助	農学生命科学部地域環境工学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	福澤 雅 志	農学生命科学部生物機能科学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	石黒 誠 一	農学生命科学部応用生命工学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	荒川 修	農学生命科学部生物生産科学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	檜垣 大 助	農学生命科学部地域環境科学科長[24. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	佐々木 長 市	白神自然環境研究所長[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	佐藤 敬	被ばく医療総合研究所 [25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（教育）	小岩 直 人	21世紀教育センター副センター長[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	氏家 良 博	21世紀教育センター副センター長[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（国際）	大西 純	国際交流センター長[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	中根 明 夫	出版会編集長[25. 3. 31まで]
平成23年4月4日	教授（農生）	佐野 輝 男	農学生命科学部附属遺伝子実験施設長[25. 3. 31まで]

**[職務付加]**

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
平成23年4月1日	教授（人文）	清水 明	総務委員会委員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（保健）	渡邊 純	総務委員会委員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	荒川 修	総務委員会委員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	総務部長	野口 一 平	総務委員会委員
平成23年4月1日	人事課長（総務）	池田 徹	総務委員会委員
平成23年4月1日	理事	江 羅 茂	財務・施設委員会委員[24. 1. 31まで]
平成23年4月1日	教授（人文）	佐藤 和 之	財務・施設委員会委員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	福田 幾 夫	財務・施設委員会委員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（保健）	石川 玲	財務・施設委員会委員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	財務部長	須藤 守	財務・施設委員会委員
平成23年4月1日	財務企画調整役（財務）	浅利 清 一	財務・施設委員会委員
平成23年4月1日	経営企画課長（病院）	佐野 進	財務・施設委員会委員
平成23年4月1日	教授（教育）	麓 信 義	教育・学生委員会委員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（保健）	一戸 とも子	教育・学生委員会委員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	宮入 一 夫	教育・学生委員会委員[25. 3. 31まで]
平成23年4月1日	学務部長	手塚 健 郎	教育・学生委員会委員

平成23年4月1日	入試課長（学務）	大西 尊久	教育・学生委員会委員
平成23年4月1日	就職支援室長（学務）	長尾 久好	教育・学生委員会委員
平成23年4月1日	教授（教育）	児玉 忠	教育・学生委員会委員（免）
平成23年4月1日	教授（教育）	小玉 正志	研究・産学連携委員会委員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	伊東 健	研究・産学連携委員会委員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	原田 竹雄	研究・産学連携委員会委員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（白神）	石川 幸男	研究・産学連携委員会委員[24.1.31まで]
平成23年4月1日	研究推進課長（学情）	竹内 新	研究・産学連携委員会委員
平成23年4月1日	教授（保健）	千葉 正司	社会連携委員会委員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（理工）	小野 俊郎	社会連携委員会委員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（農生）	張 樹槐	社会連携委員会委員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（人文）	細矢 浩志	評価室室員[24.3.31まで]
平成23年4月1日	研究推進課長（学情）	竹内 新	評価室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（人文）	植木 久行	評価室室員（免）
平成23年4月1日	教授（理工）	宮永 崇史	人事苦情処理室室員[24.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（人文）	杉山 祐子	男女共同参画推進室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（教育）	日景 弥生	男女共同参画推進室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	准教授（教育）	高瀬 雅弘	男女共同参画推進室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	講師（医）	山田 順子	男女共同参画推進室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	准教授（保健）	井瀧 千恵子	男女共同参画推進室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	総務グループ係長（人文）	照井 透	男女共同参画推進室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	一般職員（理工）	藤寄 里美	男女共同参画推進室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	総務グループ主任（農生）	及川 望美	男女共同参画推進室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	課長補佐（総務グループ）（病院）	松岡 昌江	男女共同参画推進室室員[25.3.31まで]
平成23年4月1日	臨床検査技師長（病院）	齊藤 慶子	男女共同参画推進室室員[24.3.31まで]
平成23年4月1日	教諭（附小）	宮崎 研也	教育学部附属小学校主幹教諭[24.3.31まで]
平成23年4月1日	教諭（附中）	田崎 彰	教育学部附属中学校主幹教諭[24.3.31まで]
平成23年4月1日	助教（医）	成田 浩司	大学院医学研究科附属動物実験施設主任[26.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	加藤 博之	医学部附属病院病院長補佐[24.3.31まで]
平成23年4月1日	教授（医）	水沼 英樹	医学部附属病院病院長補佐（免）
平成23年4月1日	研究推進課長（学情）	竹内 新	研究高度化支援センター長（学情・研究）兼務
平成23年4月1日	課長補佐（職員グループ）（総務・人事）	飯田 有知子	職員グループ係長（総務・人事）兼務
平成23年4月1日	課長補佐（共同センター第3グループ）（学情・共同）	工藤 慶伸	共同センター第3グループ係長（学情・共同）兼務（免）
平成23年4月1日	人事グループ係長（総務・人事）	佐藤 順志	人事グループ係長心得（病院・総務）（免）
平成23年4月11日	教授（人文）	山本 秀樹	研究・産学連携委員会委員[24.3.31まで]
平成23年4月11日	教授（人文）	諸岡 道比古	研究・産学連携委員会委員（免）

[委嘱]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年4月1日		斎藤悦朗	人事苦情処理室室員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		佐藤久美子	人事苦情処理室室員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		中村元彦	人事苦情処理室室員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		三上雅通	利益相反アドバイザー[25.3.31まで]
平成23年4月1日		松田奈津子	教育学部附属幼稚園学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		佐藤光毅	教育学部附属幼稚園学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		新戸部洋輔	教育学部附属幼稚園学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		岩渕紘太郎	教育学部附属小学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		斎藤則明	教育学部附属小学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		大高昌彦	教育学部附属小学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		清藤紀子	教育学部附属中学校学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		木村のり子	教育学部附属中学校学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		斎藤豪	教育学部附属中学校学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		佐藤道美	教育学部附属特別支援学校学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		平川大輔	教育学部附属特別支援学校学校評議員[24.3.31まで]
平成23年4月1日		椎名志津子	教育学部附属特別支援学校学校評議員[24.3.31まで]

[復職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年4月1日	助教(病院)	二神真行	研究休職より
平成23年4月1日	一般職員(学情・学情)	小石川菜生子	育児休業より
平成23年4月1日	一般職員(病院・医事)	宮古安希子	育児休業より
平成23年4月1日	教諭(附幼)	長谷川美智子	育児休業より
平成23年4月1日	副看護師長(病院)	長尾麻紀子	育児休業より
平成23年4月1日	看護師(病院)	松木美佳	育児休業より
平成23年4月1日	看護師(病院)	木村充美	育児休業より
平成23年4月1日	看護師(病院)	藤森薫	育児休業より
平成23年4月1日	看護師(病院)	平塚磨奈	育児休業より
平成23年4月1日	看護師(病院)	高屋智宇	育児休業より
平成23年4月1日	助産師(病院)	古山恵子	育児休業より
平成23年4月2日	助教(病院)	鈴木香	育児休業より
平成23年4月25日	一般職員(理工)	成田晶代	育児休業より

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年4月1日	看護師(病院)	小堀 志乃	平成24年3月31日まで
平成23年4月19日	栄養士(病院)	三上 恵理	平成24年3月31日まで
平成23年4月29日	看護師(病院)	鈴木 福美	平成24年3月31日まで

[育児休業延長]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年4月1日	留学生支援グループ主任(学務・留学)	鳥潟 裕美	平成24年3月30日まで
平成23年4月1日	総務グループ主任(農生)	加賀谷 育子	平成24年3月31日まで
平成23年4月1日	教諭(附小)	八木橋 千佳子	平成24年3月31日まで

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年4月30日	助教(病院)	岩崎 弘英	辞職
平成23年4月30日	助手(病院)	杉山 尚樹	辞職
平成23年4月30日	助手(病院)	得居 範子	辞職

---

## ■ 主要日誌

- 4月4日 役員会  
教育・学生委員会
- 11日 役員会
- 12日 企画戦略会議  
教育研究評議会
- 13日 学長定例記者会見
- 18日 役員会
- 21日 学長選考会議
- 22日 医用システム開発マイスター養成塾基礎コース開講式
- 25日 役員会
- 27日 入学式

---

## ■ 学内規則等の制定等

(平成23年4月6日改正)

以下の理由により、下記の規程の一部を改正した。

①審議事項に「被ばく事案が発生した場合の状況調査等に関すること」及び「放射線の安全普及に関すること」を追加するため。

②組織の見直しを行い、適正な組織体制とするため。

### ○弘前大学放射線安全機構規程

(平成23年4月20日制定)

教育活動推進のための提言(平成23年3月「緊急教育推進会議」)に基づき、本学の教育に関する諸課題等への対応策を検討するため、下記の規程を制定した。

### ○弘前大学教育推進室規程

(平成23年4月20日制定)

本学における安全保障輸出の適切な管理について必要な事項を定め、国際的な安全の維持及び学術研究の健全な発展に寄与するため、下記の規程を制定した。

### ○国立大学法人弘前大学安全保障輸出管理規程

---

## 訃報

本学名誉教授 菊池 卓郎 氏には、4月26日（火）御逝去されました。  
享年 80歳  
ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

弘前大学学報第85号

弘前大学総務部総務課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172) 36-2111